

WHO-FICにおける中心分類の一つであるICF

- ICFは健康状況と健康関連状況を記述するための、統一的で標準的な言語と概念的枠組みを提供することを目的とする分類です。
- WHOが総合的に管理運営しているWHO-FIC (世界保健機関国際分類ファミリー)^(※)の中心分類の一つです。
- 厚生労働省では、社会保障審議会統計分科会の下に、生活機能分類専門委員会を設置し、WHOの動向等を踏まえ、ICFに関する具体的な事項について検討を行っています。

(※) WHO-FIC (世界保健機関国際分類ファミリー)

WHOは、保健関連の重要課題を効果的に処理するためには、データベースを用いて、問題を識別し、記述する必要があるとしています。具体的には、保健関連の課題について、原因を調査し、その内容を記録したり、実施した介入等について、進捗状況を監視し、評価したりするために、国際比較可能な標準化されたデータベースが重要であるとの認識です。この認識に基づき、WHOは、保健分野に関する分類体系を提示しています。これが、国際分類ファミリー (WHO-FIC:WHO Family of International Classifications) と呼ばれるものであり、ICFはその中でも、ICD (国際疾病分類) と並び、中心分類の一つとして位置づけられています。(詳細は <http://www.who.int/classifications/en/> を参照)

ICFの評価を用いるときの基本的考え方

- 分類項目は、それぞれについて、その評価と一体で用いられます。
- 分類項目は、ひとりの方について全人的に把握することが可能な設計となっています。ただし、実際に活用する場合に、全ての項目について調べ把握することを求めているものではありません。
- 評価を行う際に用いる分類項目は、WHOが提示したものを用い、その定義に従ってください。その中で、どの分類項目を用いるかについては、特定のものに限定されるものではなく、目的に応じて変わる可能性があります。
- 健康状態や環境等、様々な要素が生活機能に対して相互に影響を与えうるとされており、そのことがICFでは重要視されていることを理解して活用してください。

ICFにおける構成要素とその相互作用

1. ICFにおける構成要素

○ICFは、人間の生活機能に関する項目を、アルファベットと数字を組み合わせた方式で表す分類です。

- ・第1レベル、第2レベル、詳細分類（第3レベル・第4レベル）があり、どのレベルでの利用も出来ます。

（例）

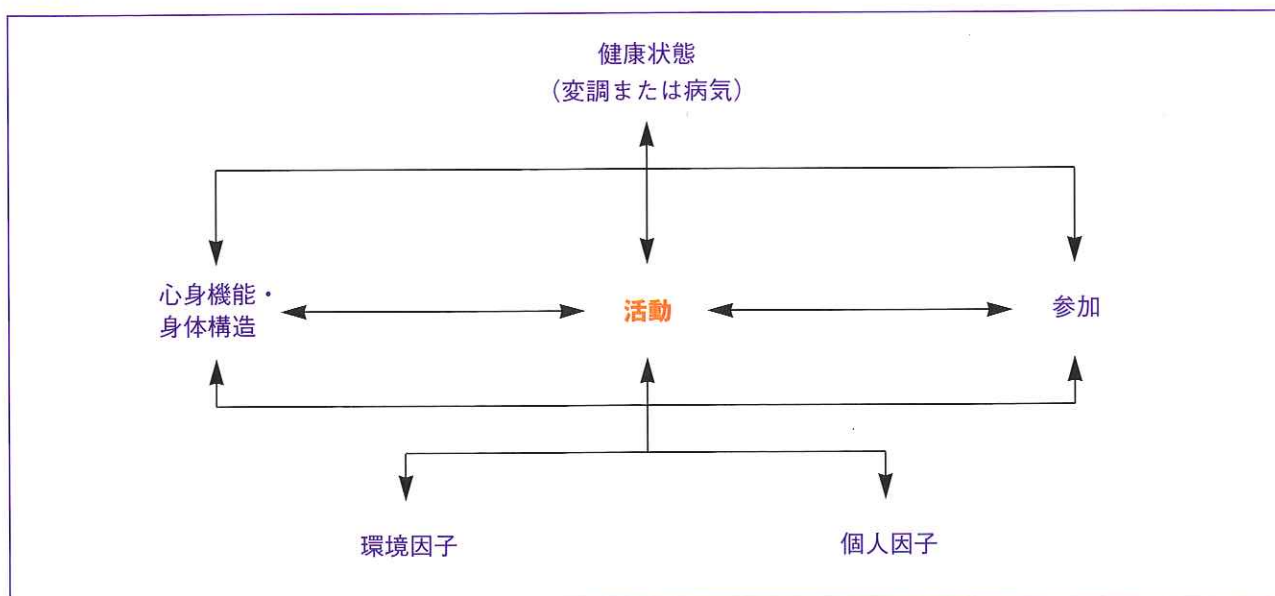
第1レベルの項目	a4	運動・移動
第2レベルの項目	a450	歩行
第3レベルの項目	a4501	長距離歩行

○ICFは、「心身機能・身体構造」、「活動」、「参加」の3つの構成要素からなる「生活機能」と、また、それらに影響を及ぼす「環境因子」等の「背景因子」の項目で構成されています。

2. 構成要素間の相互作用について

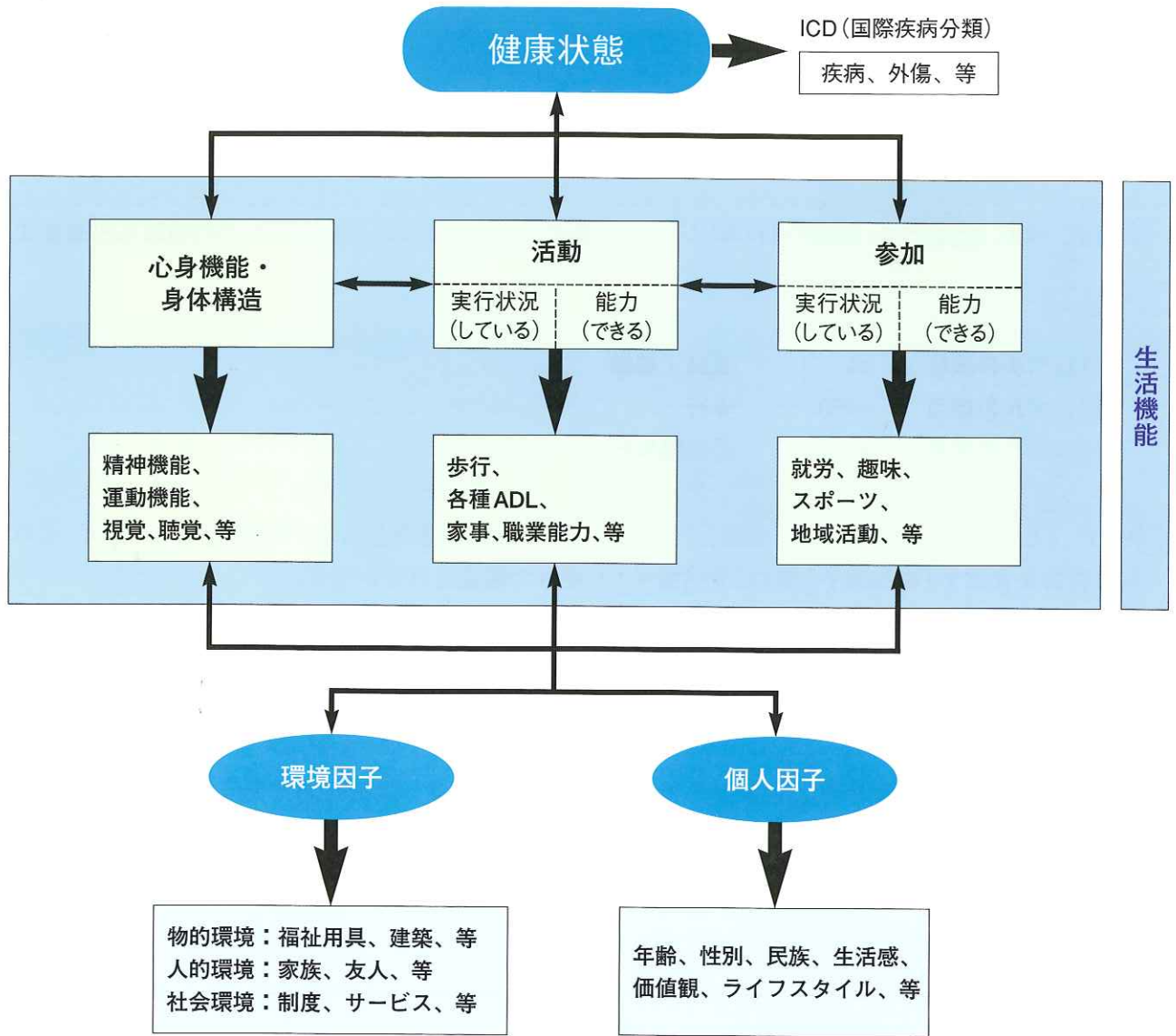
○個人の生活機能は、健康状態と背景因子との間に相互作用あるいは複合的な関係があると考えられています。また、生活機能を構成する「心身機能・身体構造」、「活動」、「参加」の間にも相互作用あるいは複合的な関係があると考えられています。

概念図



この概念図に、具体的な例示を入れたものが次のページです。

●概念図（具体例が入ったもの）



ICF 活用で期待される効果

ICFは、その活用により、

- 当人やその家族、保健・医療・福祉等の幅広い分野の従事者が、ICFを用いることにより、生活機能や疾病の状態についての共通理解を持つことができる。
 - 生活機能や疾病等に関するサービスを提供する施設や機関などで行われるサービスの計画や評価、記録などのために実際的な手段を提供することができる。
 - 調査や統計について比較検討する標準的な枠組みを提供することができる。
- などが期待されています。

ICFで使われる用語の定義

◆「生活機能」に関する用語

○生活機能 (functioning):

心身機能、身体構造、活動及び参加の全てを含む包括用語

○障害 (disability):

機能障害、活動制限、参加制約の全てを含む包括用語

○心身機能 (body functions):

身体系の生理的機能 (心理的機能を含む)

○身体構造 (body structures):

器官・肢体とその構成部分など、身体の解剖学的部分

○機能障害 (構造障害を含む) (impairments):

著しい変異や喪失などといった、心身機能または身体構造上の問題

○活動 (activity):

課題や行為の個人による遂行

○参加 (participation):

生活・人生場面 (life situation) への関わり

○活動制限 (activity limitations):

個人が活動を行うときに生じる難しさ

○参加制約 (participation restrictions):

個人が何らかの生活・人生場面に関わるときに経験する難しさ

◆「背景因子」に関する用語

○背景因子 (contextual factors):

個人の人生と生活に関する背景全体 (構成要素は環境因子と個人因子)

○環境因子 (environmental factors):

人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子

○個人因子 (personal factors)

個人の人生や生活の特別な背景